



寿光園だより

第 0059 号
平成27年11月 発行
制作:寿光園広報担当
<http://www.jyukouen.or.jp/>



秋がたくさんある



ススキを見て思うのは 月見団子?それとも秋?

日付は少し遡ること 10 月のはじめ、寿光園では夏祭りも敬老会も終わり職員一同も利用者様も一息ついている時期でした。残暑の暑さも納まり、午後の時間を利用して施設の外を、職員が車椅子をおして日光浴を兼ねた散歩を行います。「もうすぐコスモスが咲いて、稲を刈る匂いがしてくんだあ」と何気なしに景色を見ながら利用者様が話してくださいました。

そうです、特別養護老人ホーム寿光園の施設建物は矢吹町のなかでも、小高い山のような場所にありますが、すこし坂道を下ればそこには田園風景が広がっています。秋を感じるものは施設の周囲を探してみれば、意外とたくさんあります、小さな栗が落ちていたり中庭には彼岸花が咲いたり、ススキも生えていたり、コスモスも斜面に小さく咲いていたり、けれどその利用者様にとって一番秋を感じるものは、稲を刈る時期となった頃にその藁の香りが風によって自分のところにやってくることなのでしょう。

「昔は機械なんてなかった、刈るのも干すのも手間がかかった」としみじみ私たちに昔の畑仕事の苦勞を語ってくださいました。

いろんな楽器を持ってきた★

とある日、寿光園の食堂に矢吹小の小学生達がたくさんの管楽器や鍵盤ハーモニカを手に持って来園してくださいました。芸術の秋らしく、生の演奏会の開催です。最近流行の曲もあれば、耳に

覚えのある曲もあって、何より目の前の小学生達がそれをプロのオーケストラのように軽快なリズムで奏でてくれた事に、利用者の皆様も目を丸くして、たくさんの拍手を送ってくださいました。

別の日になりますが、幼稚園のちびっ子達も寿光園に施設見学に来てってくださいました。お爺ちゃんお婆ちゃんに、元気よく挨拶した後は小さな手でトントンと肩を叩いてくれて、利用者の皆様も笑顔でいっぱいになりました。

矢吹幼稚園



矢吹小吹奏楽演奏会



おじいちゃん、おばあちゃんのおうちを見に来ました



寿光園・園長より皆様へ



早いものでカレンダーの残り枚数もあと 2 枚に近づいてまいりましたが、皆様にはご清栄のこととお慶びを申し上げます。お蔭様で寿光園の運営も円滑に推移してきておりまして、利用者様各位も安定した心落ち着いた生活をエンジョイされており、事業側といたしまして大いに幸せを感じております。これも偏にご家族様初め、園に頂戴します各種ボランティアなど、多くの方々の温かいご愛念の賜と職員一同心より感謝申し上げます。東日本大地震、東京電力福島原発第一発電所事故も五年を経過しようとしています、何も無かったかのような自然の移ろいの中、福島県のコメの作況指数は「平年並み」と異常気象といわれましたが結果は幸いに転じているようです。

さて、9月18日に野崎矢吹町長様のご臨席のもと、寿光園敬老会は、高齢者のご長寿を寿ぎ、また、地元ボランティア 18 名による歌舞の披露も加わり、利用者の顔や目は一層輝き、参加されたご家族の方々も大いに喜ばれ、有意義なひと時を過ごすことができました。改めて皆様のご支援とご協力で厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

一方、アベノミクス第 2 ステージの第 3 の矢として「安心につながる社会保障」を掲げ、T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）大筋合意とかの報道が世を騒がせていますが、国民の理解は得られていません。今後一層のグローバル化と言われますが、日本が他の諸国と同等に意見を述べ、相互理解のもとに世界的規模施策を講じるのは「夢のまた夢」のようです。

過日、県立矢吹病院の六十周年記念事業で奈良の薬師寺の管主山田法胤氏の講演を聞きました。その中で、「今こそ、感謝し褒める文化の国（日本）」に戻るべきときであろうと話されていましたが、聞き入った人の多くはきっと同じ心で聞かれたことと存じます。介護福祉社会も一大転換期にあります、これからも精一杯、地域福祉に貢献できるよう努める所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げ、挨拶とさせていただきます。

特別養護老人ホーム寿光園・園長 黒河内 滋



病気は進化する!?

今年は新型ノロウイルスの胃腸炎にご注意を!!



ノロウイルスには40種類以上の型が存在している。

今季流行の兆しがある「シドニー2012」は、突然変異で発生した新種で過去に大流行した



胃腸の表面に取りつきやすい構造をしている。

これまでより短い潜伏期間で、少ない増殖で下痢などの症状が現れはじめる。



今まで胃腸炎とは無縁の人でも発症する可能性が高い。

胃腸が強かったり、抵抗力が高い20~30代の成人でも重症化するリスクが高い特徴



- 今まで以上にしっかりと手洗いをしてください。
- 食材の加熱は中心まで十分に火を通してください。
- 後から付着する場合がありますので、調理をしただけですみやかに食べてください。
- 次亜塩素酸（ハイター等）を用いて消毒をすること。
- 症状が重い場合はすぐに病院を受診してください。

ノロウイルスには、インフルエンザのようなワクチンや特効薬はない為、「対症療法」にて症状を緩和して自然治癒を待つしかありません。そのため流行した場合に一番危険に晒されるのは、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者となっています。

当施設では「菌やウイルスを持ち込まない」をスローガンに迅速な対応をとるべく10月より全職員のマスク装着、手洗いと消毒の徹底をおこない、また面会についても専用のスペースを設けて、短時間の面会を薦めています。

福祉施設や医療機関において、職員や面会にこられる外部の方は本人らが意識せずとも「菌やウイルスの媒介者となって、施設に持ち込む可能性が高い」という前提のもと、空気感染が特に深刻な風邪やインフルエンザが流行しやすい10月頃より面会や外出を制限させていただく、というものです。

今後も感染症等の流行状況に応じて、新たな対応をとらせていただく場合も想定されますので、その際にはどうか御協力と御理解をよろしくお願いいたします

特別養護老人ホーム寿光園・感染症対策委員会



花火ぞんっ!! 寿光園夏祭り!!



毎年やってくる敬老の日、今年と同じ日に彼岸法要も執り行なう特別なものとなりました。

「今年は元気に過ごせたな」「来年はどうなるだろうか」と、期待もあれば不安もあります。歳をとるごとに私達も利用者様も両親や祖父母の後ろ姿や顔を思い出すのです。

彼岸法要にて、お坊さんのありがたい説法に耳を傾けて、思うところに静かに領き祈りを捧げたあとは、敬老会にて、長寿のお祝いと催しものに皆でたくさんの拍手を捧げました。



9月 彼岸法要



故人を
故人を
人を
を
敬
び
う

やはり夏といえば花火にお祭り。今年も小さいながらも、ドカンと花火を打ち上げました。寿光園「夏祭り」、毎年利用者様やそのご家族様、そして近隣のボランティアの皆様にも参加していただき本当にありがとうございます。今年は8月に開催させていただきました雨も降らず晴天に恵まれました。夏場の炎天下の余波も考え、食事は食堂で食べていただき催し物は施設正面玄関前の広場にて行う方式となりました。

焼きそばや焼き鳥、ちらし寿司にアイスクリーム、やはりお祭りといえば定番の食べ物。そして子供達が躍動感溢れる「よさこい踊り」を披露してくれました。やはり「夏祭り」や「縁日」「花火」を見ないと夏が終わりません。来年も参加をお待ちしています。

来園してくださったボランティアの皆様

三神・中畑・矢吹日赤奉仕団 様 ・ 富久美会 様 ・ しらうめ荘 様
8/20 矢吹小学校吹奏楽団 29名+4名 ・ 10/3 二区育成会子供みこし 様
9/ 8. 9 デイサービス体験学習(矢吹中学校 2年・4名)
9/10.11 ホーム体験学習(泉崎中学校 3年・6名) ・ 9/29 矢吹幼稚園 様

ご多忙のなか、本当にありがとうございました!!

寿光園「居宅介護支援事業所」

介護保険施設の情報提供や在宅介護サービスの相談
要介護認定の申請代行や介護保険の相談はお任せください
・営業日 月～金 8時30分～17時30分
・連絡先 0248-44-3220



担当者よりご家族様へ

入所者名: 様
担当職員: